

国際的に価値のある地質遺産を保護し、そうした地質遺産がもたらした自然環境や地域の文化への理解を深め、科学研究や教育、地域振興等に活用することにより、自然と人間との共生及び持続可能な開発を実現することを目的とした事業。

認定総数は、44か国、161か所（2020年7月現在）。

※申請にあたっては、地質遺産の特徴、申請地域の文化的背景や自然・文化遺産との関係、管理運営体制、教育・研究・経済活動の状況、関係者との連携や地域住民の参画といった項目に関する説明が求められる。

日本国内のユネスコ世界ジオパーク（9か所）

教育

研究

地域の文化

観光

糸魚川

アポイ岳

山陰海岸

洞爺湖有珠山

隠岐

島原半島

伊豆半島

室戸

阿蘇

糸魚川・親不知

アポイ岳

山陰海岸・鳥取砂丘

洞爺湖有珠山
昭和新山・洞爺湖・中島

隠岐・国賀海岸

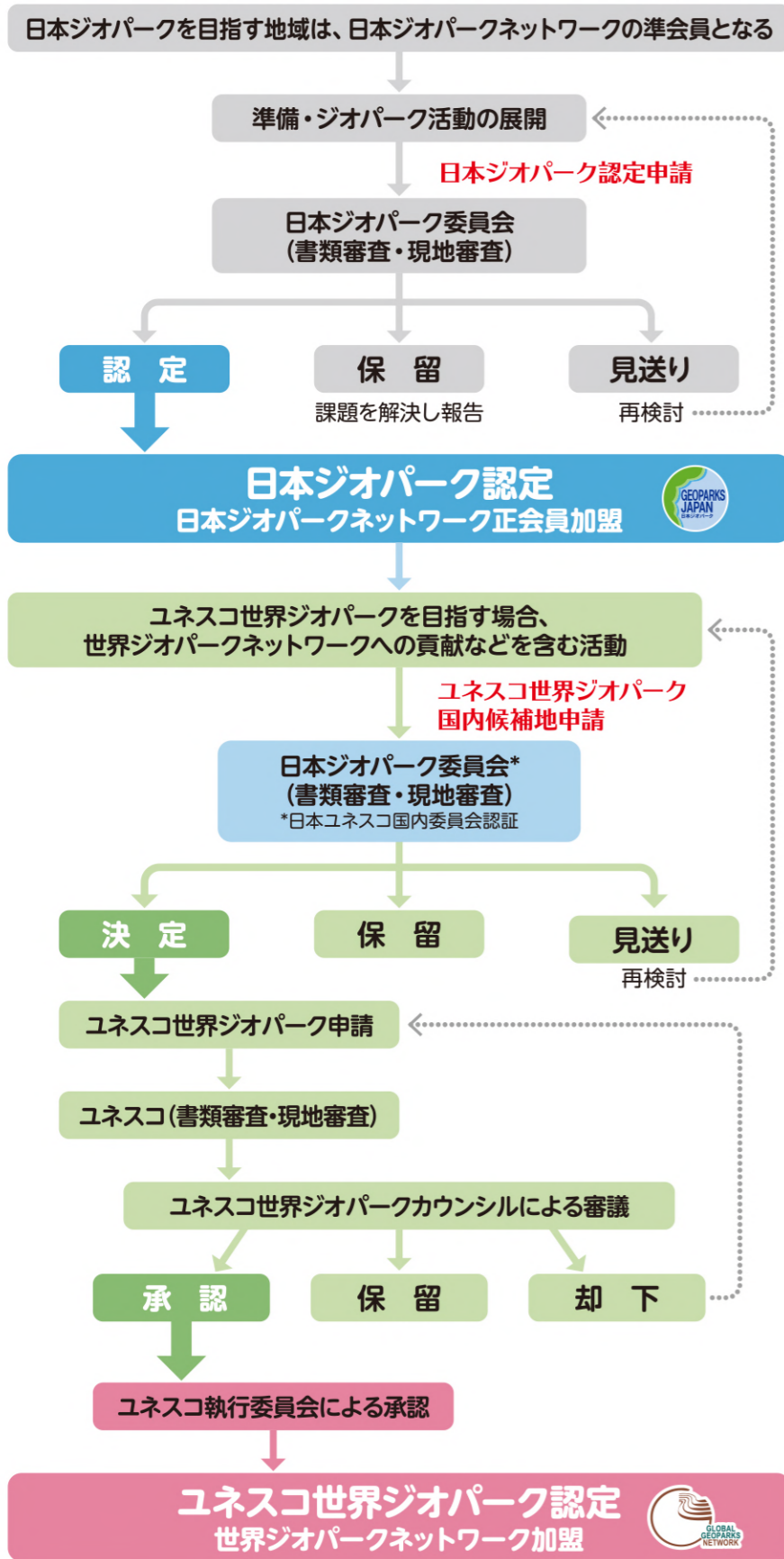
島原半島・早崎玄武岩

阿蘇・中岳火口

室戸・室戸岬

伊豆半島・堂ヶ島

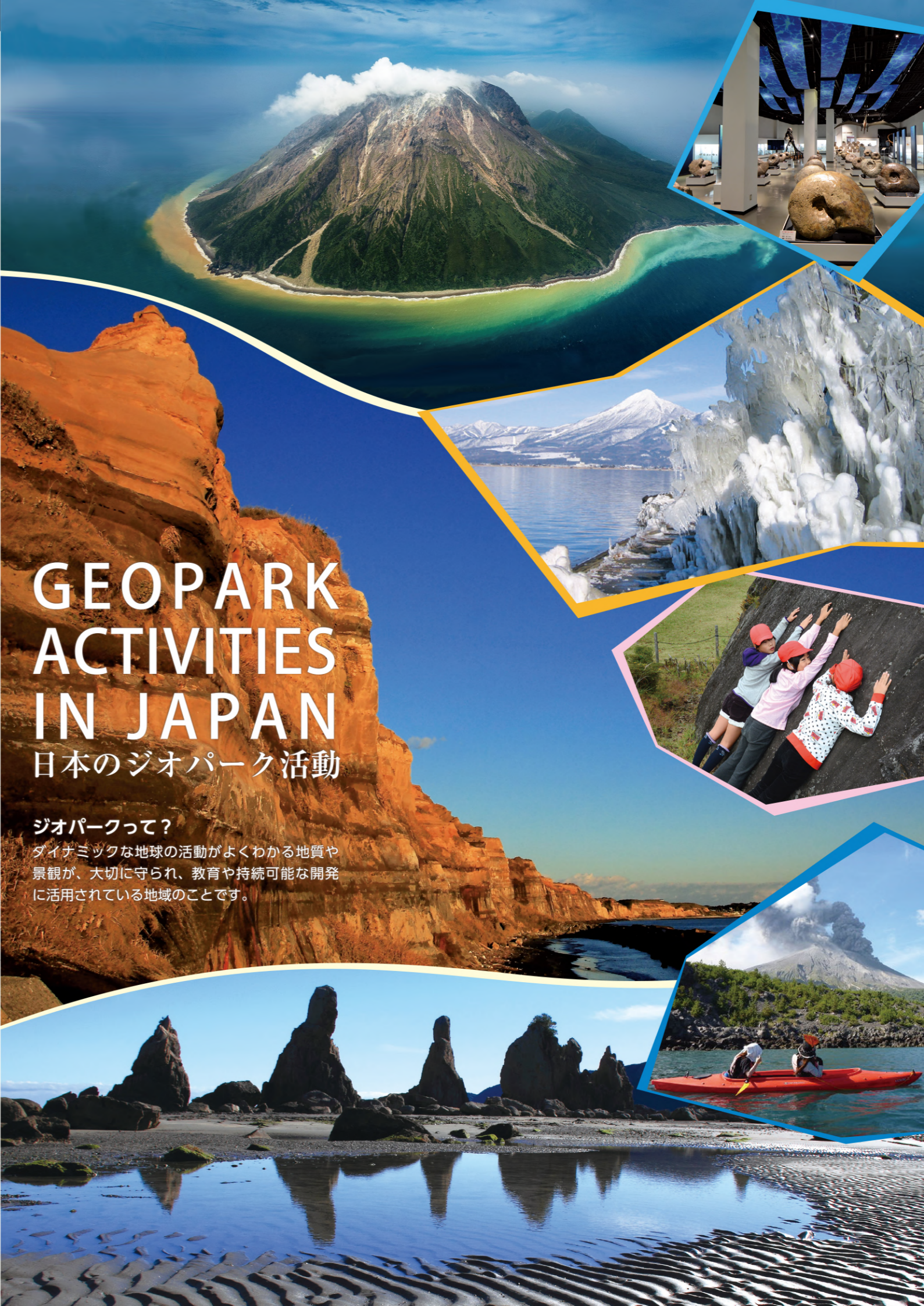
ジオパークになるには？



GEPARK ACTIVITIES IN JAPAN

日本のジオパーク活動

ジオパークって？
ダイナミックな地球の活動がよくわかる地質や景観が、大切に守られ、教育や持続可能な開発に活用されている地域のことです。



ユネスコ世界ジオパークは、ユネスコの正式事業です。

ユネスコ世界ジオパークは、2019年4月現在、41か国に147か所あります。

特に、自然資源、自然災害、気候変動、教育、科学、文化、女性、持続可能な開発、地域と先住民の知恵、地質保全の10分野に、ユネスコ世界ジオパークは焦点を当てています。

また、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) を2030年までに達成するための取り組みも行います。

未来の世代のニーズを損なうことなく、現在のニーズを満たす開発を実現する
 ~自然資源を守りながら、社会を発展させる~
※保全と開発は互いに反するものではなく共存し得るものとしてとらえ、環境保全を考慮した節度ある開発が重要であるという概念。



地域の貴重な自然・文化を学び、地球と人間とのつながりを知る

地域の地形地質・自然・文化遺産を守る



ネットワーク活動

ジオパークでは、ネットワーク活動を大切にしています。ネットワークの仲間で互いの経験・知識を共有することで発展してきました。

世界ジオパークネットワーク (GGN)

2004年、ユネスコの支援を受けて17か所のヨーロッパジオパークネットワークのメンバーと、8か所の中国ジオパークが世界ジオパークネットワーク (GGN) を設立しました。2009年8月には、日本からも世界ジオパークが誕生しました。以降、日本の世界ジオパーク認定地域も、世界ジオパークネットワーク (GGN) に加盟しています。2014年、世界ジオパークネットワーク (GGN) は、法人格を取得しました。全てのユネスコ世界ジオパークは、世界ジオパークネットワーク (GGN) への加盟が義務づけられています。

日本におけるジオパーク活動のはじまり

2007年12月に「日本ジオパーク連絡協議会」が設立され、日本の地質学者、地質調査を行う民間団体の支援の下、ジオパークを目指す地方自治体などがネットワーク活動を開始しました。2008年12月には、7つの日本ジオパークが誕生しました。2009年5月、「日本ジオパーク連絡協議会」は発展的に「日本ジオパークネットワーク (JGN)」に移行しました。

日本ジオパークネットワーク (JGN)

日本ジオパークネットワーク (JGN) は、特定非営利活動法人 (NPO法人) です。日本ジオパークを目指す地域は、日本ジオパークネットワーク (JGN) の準会員になります。準会員地域は日本ジオパークに認定されると、日本ジオパークネットワーク (JGN) の正会員となります。日本ジオパークネットワーク (JGN) の主な財源は、会員の年会費です。正会員が年40万円、準会員が年20万円です。3,000円以上の寄付をした個人・団体は協賛会員になることができます。毎年、日本ジオパーク全国大会、全国研修会を開催しています。また、インターネットを活用した情報交換や意見交換も盛んです。地震などの自然災害に関する情報を共有し、被災した地域の支援を積極的に行っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ユネスコ世界ジオパークの審査・認定

ユネスコ世界ジオパークの審査・認定は、ユネスコが行っています。ジオパークには、4年に一度の再認定審査があります。

日本の審査体制

日本ジオパーク委員会 (JGC) ※は、日本ユネスコ国内委員会からの認証に基づき、日本におけるナショナル・コミッティとして、ユネスコへの申請候補地を選定しています。



※日本ジオパーク委員会 (JGC)
 2008年5月設立。2016年1月25日、日本ユネスコ国内委員会が、日本のナショナル・コミッティとして正式に認証し、日本におけるユネスコ世界ジオパーク事業の登録審査業務に関して権限を持つ機関となりました。JGCは、ユネスコ世界ジオパークを目指して活動する日本ジオパークの認定も実施しています。日本では、ユネスコ世界ジオパークに申請するためには、まずは日本ジオパークに認定される必要があります。



日本にジオパークはいくつあるの？

日本ジオパークに認定されている地域は、2020年4月現在、北海道から九州まで、43か所あります。そのうち9か所は、ユネスコ世界ジオパークです。さらに、日本ジオパークを目指している準備地域が、14か所あります。

ボトムアップ型アプローチ

ジオパークは、「ボトムアップ」あるいは地域住民主導の取り組みをしています。それぞれのジオパークの住民が、地元の素晴らしい自然や文化の価値を知り、大切に守って、教育や持続可能な開発に活かす取り組みを推進しています。

GISMAP この地図は北海道庁の提供によるデータに基づき、北海道地図株式会社にて、この地図の作成に当たっては、国土院の承認を得て、開業料102万円55千円の1:100,000地形図を使用した。(承認番号 令和元年度第415-GISMAP43442号)